コープくらしのたすけあいの会「全体のつどい」開催報告

1. 日　時　2010年4月14日(水)　10:30～13:45
2. 場　所　生活協同組合コープあおもり本部集会室
3. 出　席　21名
4. 当日プログラム　　司会：笹森敦子さん

10:30～	開会挨拶：青森県生協連　井筒智義会長
10:35～11:00	「2009 年度まとめと 2010 年度計画について」 青森県生協連　西田俊三事務局長
11:00～12:00	学習講演「地域包括支援センターの現状とコープたすけあいの会に望むこと」 講　師：青森保健生協大野包括支援センター　根本ひさい　所長
12:00～12:45	昼食・休憩
12:45～13:45	グループ交流「私たちのやりたいたすけあい活動」・発表（1グループ 3 分）
13:45～13:50	閉会挨拶：　コープくらしのたすけいあいの会　笹森敦子副会長

司会・閉会挨拶に奮闘された笹森敦子さん

会の先駆的役割を強調する井筒県生協連会長

一人の高齢者の生活から地域の問題を発見し、運動を通して改善（実現）することの重要性を強調されました。（根本ひさいさん）

参加者はメモを取りながら、根本さんのお話を熱心に聞いていました。

・4月14日（水）、コープあおもり本部集会室において「コープくらしのたすけあいの会2010年度本部のつどい」を開催しました。当日は、東北本線、奥羽本線が運休するなど春の大嵐に見舞われ、八戸地域全員と弘前地域の一部の皆さんが参加できなくなりましたが、青森地域、下北地域、弘前地域のたすけいあいの会の幹事、各地域のコーディネーター、講師を合わせて21名の参加で無事開催することができました。
・井筒会長の開会挨拶に続いて、くらしのたすけあいの会全体事務局より「2009年度のまとめと2010年度計画」について報告。続いて、学習講演会に移りました。根本さんからは、「地域包括支援センターの現状とコープくらしのたすけあいの会に望むこと」についてお話しをいただきました。青森・弘前・八戸県内3市の地域包括支援の現状に触れながら、おおの包括支援センターの取り組みについて紹介され、とくに「行き倒れ老人」に関する深刻な困難事例は参加者全員とても考えさせられるお話でした。講演の後半は、コープくらしのたすけあいの会が地域で果たしている役割と今後の期待。根本さんは、これまで果たしてきた「介護保険サービスからはみ出したサービスを補う役割」の経験を生かしつつ、これからは、①地域づくり（つながりを活かしたネットワークづくり）、②街づくり（高齢者が住み続けられ。コミュニティから孤立させない）、③消費者被害の予防、④認知症者対応等の視点が大事になる等々について提言されました。
・昼食休憩後、4グループに分かれてグループ交流。「これからやってみたい事」をテーマに、根本さんのお話を聞いて感じたことや日ごろの思いなどについて話し合いました。グループ発表の後、笹森さんの挨拶をもって閉会となりました。

＜グループ発表＞

Aグループ
・メディアを使った宣伝をしたい。
・行政とのつながりを大事にする。
・低所得者無料制度はできないか。
・福祉タクシーが欲しい。

Bグループ
・犬の散歩の手伝いを増やしたい
・臨機応変な対応。
・相手を傷つけない活動をめざす。
・会員相互のふれあいが大事（コミュニケーション）

Cグループ
・もっとA会員の希望に沿った活動がしたい。
・会員同士のコミュニケーション増進
・ボディタッチのルールを見直したい。
・認知症予防学習

Dグループ
・さわやかな気持ちになるさわやかな活動をしたい。
・やってあげるのではなく、活動ができてうれしいという活動にしたい。
・会員をもっと増やす